



安心して入院生活を 送っていただくために

★ 入退院に関わる患者サポートセンターの役割

｜患者サポートセンター看護師長 山本 起美代 / P1～2

★ 転倒にご注意を

｜医療安全管理室看護師長 赤城 香 / P3～4

★ 骨粗鬆症は疾患です

｜院長補佐兼整形外科主任部長 樋田 大輔 / P5～6

新年度院長あいさつ

昨年5月に新型コロナが5類になり、世の中ではコロナ禍以前の生活を取り戻しつつあります。しかし、現在の株は感染力が強いのが特徴ですので、感染対策は重要です。まだまだご不自由をお掛けすると思いますが、御協力をお願いします。

昨年度は、開院以来の念願であった、分娩の取り扱いを始めることができました。また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や、抗がん剤治療での脱毛を軽減する「頭皮冷却装置」を導入し、新しい治療を積極的に取り入れました。

3月16日には病院直結の駅「加木屋中ノ池駅」も開業し、病院の利便性が向上するものと期待しております。

今年度は開院10年目を迎えます。放射線治療の副作用を軽減する照射法（IMRT）を開始し、精神科の常勤医を採用することで入院患者さんの心のケアを充実させる予定です。また、県指定の愛知県がん診療拠点病院の取得を目指しています。

4月から、医師の働き方改革が始まります。時間外勤務の削減が求められておりますので、患者さんやご家族への説明を平日時間内に行うなど、ご協力いただきますようお願いいたします。

引き続き「すべては患者さんのために」を実現すべく努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



院 長
吉原 基

入退院に関わる 患者サポートセンターの役割

患者サポートセンター
看護師長 山本 起美代

患者サポートセンターとは

『入院前から退院後まで切れ目なく多職種で患者さんをサポートし、安心・安全な療養生活の実現を目指します。また、周辺医療機関との連携を強化し、地域に密着した中核病院としての役割を果たす』目的があります。
患者サポートセンターでは、看護師・社会福祉士・管理栄養士・公認心理師・事務職員が在籍しています。入退院支援は、看護師・社会福祉士が役割を担っています。

入退院支援の必要性

- ◆ 入院による廃用症候群（過度に安静にすることや活動性が低下したことによる身体に生じた様々な状態）・認知症などの進行予防
- ◆ 在院日数の短縮化
- ◆ 医療の高度化
- ◆ 診療報酬制度



入院までの流れ

主治医：入院決定
外来看護師：外来検査などの説明

外来

患者サポートセンター

事務職員

入院手続き
限度額説明

看護師

患者基本情報・病歴聴取
内服薬の情報収集

社会福祉士

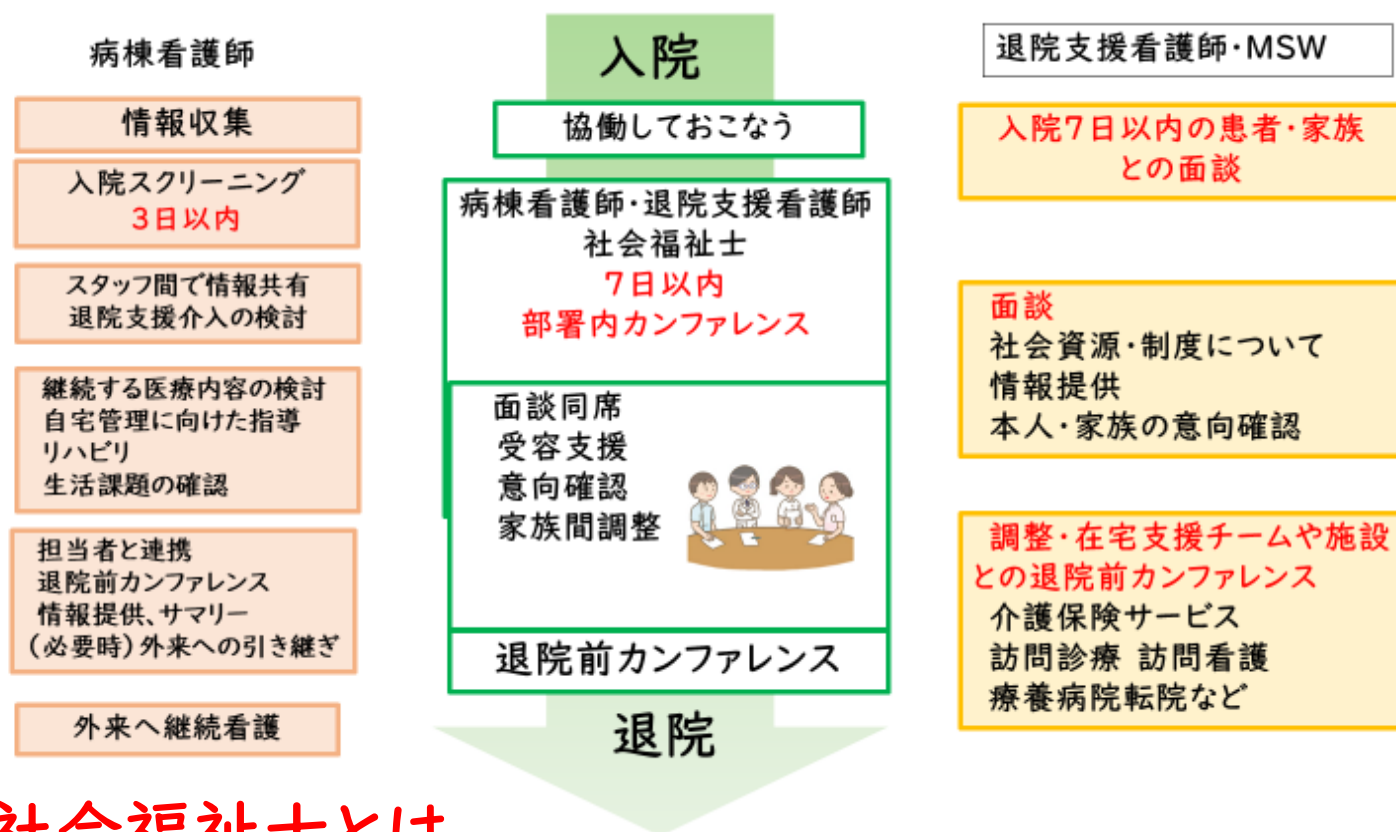
公費申請案内

担当ケアマネージャーへ
情報提供を依頼

入院

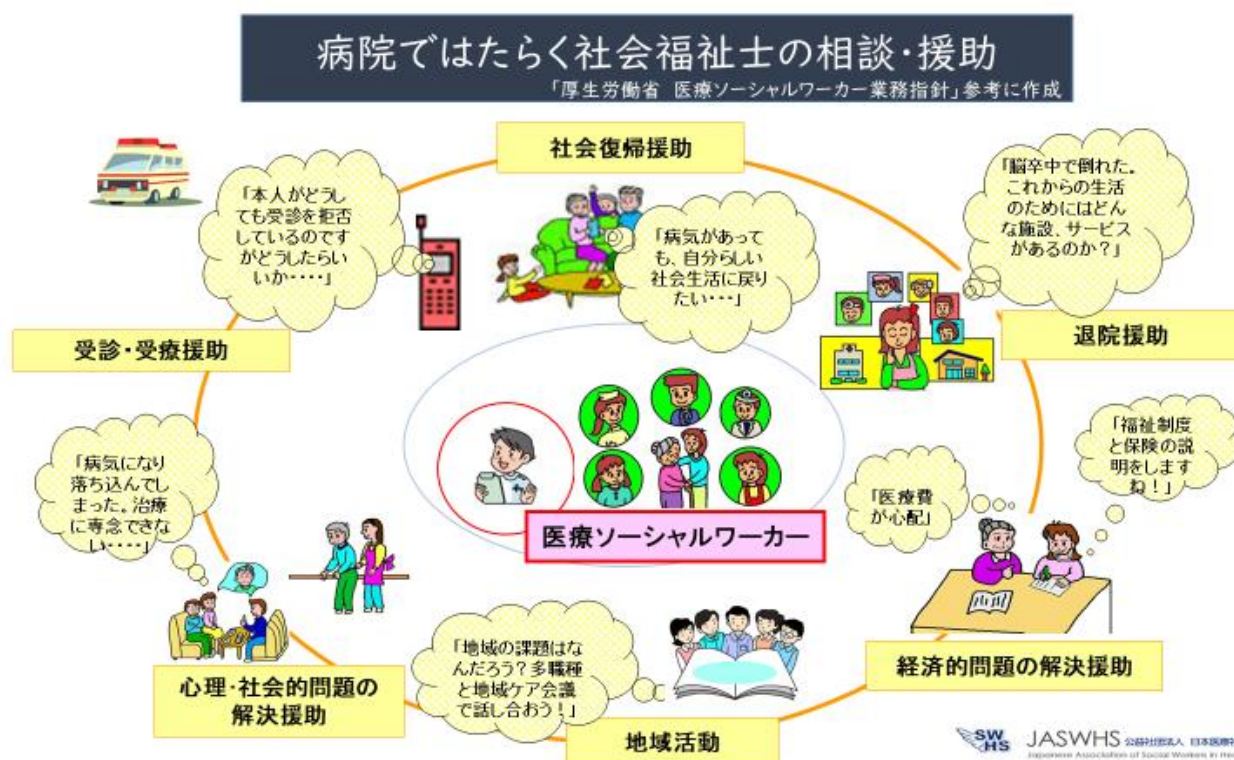


入院～退院までの流れ



社会福祉士とは

- ①療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- ②退院援助（退院支援看護師との連携）
- ③社会復帰援助（退院支援看護師との連携）
- ④受診・受療援助
- ⑤経済的問題の解決、調整援助
- ⑥地域活動



転倒にご注意を！

医療安全管理室
看護師長 赤城 香

入院をされた方の中には、入院中に転倒してしまった経験がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

入院患者さんの中で、1ヶ月に30人以上の方が転倒したり、ベッドから転落したりしています。中には転倒して骨折するということも起きています。

病院は安全？

「病院は安全な場所なのになぜそんなことが起こるの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

もちろん、病院では患者さんが安心して入院生活を送っていただくために安全に配慮し、ベッドまわりの環境を整え、患者さん一人一人にあった転倒対策を考えて予防策を実施しています。しかし、病院は自宅での生活と大きく変わることも多いのです。



病院だからこそ気をつけてほしい

転倒する方は高齢とは限りません。令和4年度では転倒された約6%が60歳未満の方でした。入院生活により体力が低下することで、転倒しやすくなります。

入院時は履き慣れた靴を準備し、トイレに行く場合には看護師を呼ぶなど、「自分は大丈夫」と過信せず十分に気をつけてください。

医療安全川柳

結果発表

当院では職員の医療安全意識向上のために、毎年3月から4月にかけて職員から医療安全川柳を募集しています。令和5年度は676句の応募がありました。

昨年11月20日～11月30日に応募作品の一部を患者サロンルーム横の廊下に掲示し、来院の皆さんから一番心に残った句に投票をお願いしました。

こちらの句は、投票いただいた中で一番多くの票を獲得した句になります。

当院では患者さんに『フルネーム』と『生年月日』で患者確認を行っています。患者さんを間違えることは重大な事故につながります。

何度も聞かれることでわずら煩わしさを感じることもあるとは思いますが「診察前」「検査の前」「処置を行う前」など、必ず『フルネーム』と『生年月日』をお答えいただきますよう、ご協力をお願いします。

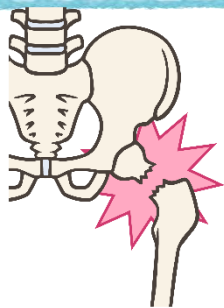
ちなみに、東海市と知多市にお住まいの世帯数を合わせたとき、「竹内さん」は、「鈴木さん」や「加藤さん」よりもダントツで多いそうです

投票にご協力いただき、ありがとうございました

ありがとう



骨粗鬆症は疾患です



院長補佐兼整形外科主任部長
樋田 大輔

高齢になると活動性が低下し、女性は閉経後にホルモンのバランスが変わることにより骨密度は低下してしまいます。骨が脆弱になり、軽微な外力（立っている状態からの転倒等）で骨折することがあります。転び方によって骨折する部位には違いがあります。

転倒した時に手をつくると手首や肘、肩が骨折します。



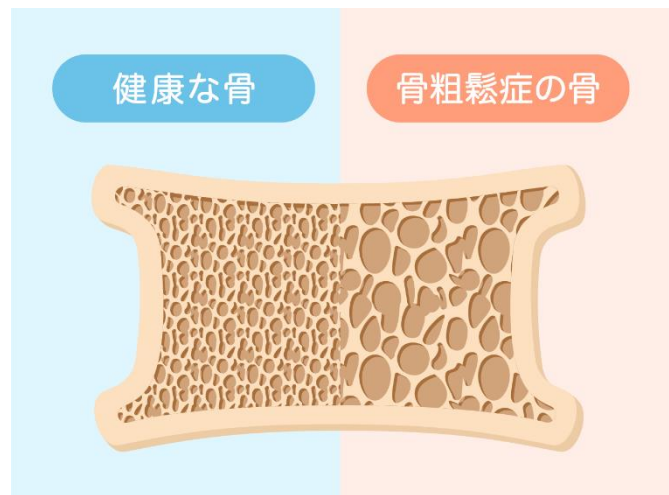
尻もちをつくように転倒すると
背骨や骨盤が骨折します。

横に転倒して脚の付け根を外側から
打つと太ももの骨の付け根
（大腿骨近位部）が骨折します。



特に大腿骨近位部を骨折すると、歩行能力の低下に直結し、日常生活のレベルが著しく低下することになります。歩行能力を含めた日常生活レベルの低下を、最低限にとどめることを目指すために、手術を検討することとなります。高齢、合併症等から手術の安全性が、担保しきれないことは、ご心配される通りですが、立つこと、歩くことを目標にされる場合には、できるだけ早期に手術を受けられ、早期に離床が可能となると、筋力や体力の低下の予防に、つながることが期待されます。

また、骨密度が著しく低下すると、転倒していなくても背骨が骨折したり、他の目的で行われたレントゲンやCTなどで、背骨の古い骨折が判明する「いつのまにか骨折」となったりします。背骨の骨折では身長が低くなったり、背が曲がったりしますし、ひどい場合、脚が麻痺してしまうことがあります。



国際保健機関（WHO）の提言では、「骨粗鬆症は骨が脆弱となり、骨折のリスクが増大する疾患で、骨折は結果として生じる合併症である」とあります。骨密度の低下は検査をしないとわかりません。症状がないと、なかなか受診して検査をしようとは思われないかもしれませんが、骨折が起こってからでは手遅れになることがあります。骨密度の検査を受けられ、対策をすることで、少しでも健康寿命を長く保つことをお勧めします。

2024年度 糖尿病教室のご案内

場所：公立西知多総合病院 2階 講堂

時間：14:00～15:30

参加費：無料



回数	開催日	内容		今月の運動	今月のレシピ
第67回	5月7日(火)	糖尿病とは?	糖尿病の食事 ～基本から応用へ～	ストレッチ (上半身)	魚料理
第68回	6月4日(火)	糖尿病の合併症	初めての糖尿病 ～合併症の検査～	筋トレ (上半身)	野菜料理
第69回	7月2日(火)	暑い季節にご用心 ～夏の療養注意ポイント～			豆腐料理
第70回	9月3日(火)	こんなに便利!糖尿病ツール	「ためしてみよう!～糖尿病の注射薬～」	コグニサイズ	麺料理
第71回	10月1日(火)	スポーツの秋!みんなで楽しくウォーキング		ストレッチ (下半身)	卵料理
第7回 糖尿病市民公開講座 11月9日(土) 公立西知多総合病院 講堂					
第72回	12月3日(火)	年末年始は危険がいっぱい ～冬の療養注意ポイント～			デザート
第73回	2月4日(火)	体験談 ～患者さんから学ぼう～	糖尿病と医療費	筋トレ (下半身)	肉料理
第74回	3月4日(火)	フットケアってなあに	歯周病にご用心	耐久運動	ご飯物

☆感染症対応のため、マスクの着用、手指消毒、検温をお願いします。

☆なお今後の教室が変更される場合は、ホームページ及び外来でご案内します。

☆申し込み・お問い合わせは、内科外来Dブロックまでお願いします。

公立西知多総合病院
ホームページ



公立西知多総合病院
看護局
インスタグラム



基本理念

すべては患者さんのために

基本方針

- 1 患者さんの生命と人権を尊重し、安心安全な医療を提供します。
- 2 地域の基幹病院として、救急医療と急性期医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療機関や保健・福祉機関と連携し、地域住民の健康増進を図ります。
- 4 教育と研修により、医療技術の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
- 5 職員がやりがいを持ち、安心して働くことができる環境を整えます。
- 6 健全な病院経営に努めます。